

の宿泊施設では総選挙の日程が決まった後、20〜30人規模の忘年会の予約キャンセルが相次いだ。いずれも選挙の日程との兼ね合いが理由とみられる。担当者は「選挙のためとはいえ、書当列巻いてくる」と困った様子で話す。

多くの職員が選挙に関わる太田市役所に近い居酒屋「月のかわ」(同市飯田町)でも影響は顕著。例年、12月中旬の週末は市職員から



前橋 姉妹で15キさん(71)＝前橋さん(66)＝高崎みながら歩

デイサービスや補助食品

愛犬「介護」手厚く

飼育環境や医療技術の向上でペットの寿命が延びている。長寿化で手厚い世話を施す飼い主が増えたことに伴い、県内でも犬の介護サービスや補助食品が注目を集めている。高齢の飼い主による「老老介護」も懸

念される中、ペット界でもシニア需要が高まりそう
だ。

昨秋開業した「わんケアサービス虹のはし」(前橋市青柳町)はドッグランや砂場を設け、老犬のデイサービスや訪問介護に対応す

る。市内の男性の15歳になる飼い犬は昨年末から同じ所を繰り返し回るようになり、動物病院で三半規管機能の低下による疾患と診断された。

投薬治療を続ける一方、留守中のけがが心配だった

ため「虹のはし」のデイサービスを1カ月ほど利用。適度な運動やほかの犬との触れ合いが奏功し、見違えるほど回復した。男性は「また具合が悪くなってもここに連れてくればいい」という安心感がある」と話した。

現在はペットホテルとしての利用が多く、老犬の割合は約20%。運営する入沢光広社長は「県内で10歳を超える犬は4万頭以上いる」と言われ、介護利用は増えていくだろう」と見込む。

ペット用品店のかるなほ(前橋市上泉町)は、関節痛の改善に効くとされるグルコサミンを配合したサプリメントが売れ筋。来店客の4割はシニア用品目的で、かみ砕きやすい餌や柔らかいおやつ、犬用おむつも需要がある。曾我義幸店長は「高齢になると飼い主もペットも大変。5歳くらいから手をかけ、健康な体を作ってあげて」と早めの対策を勧める。

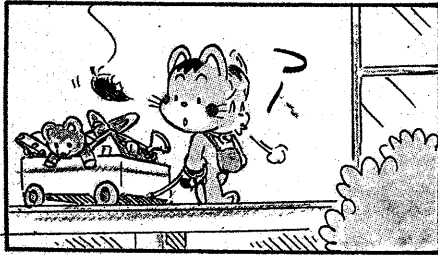
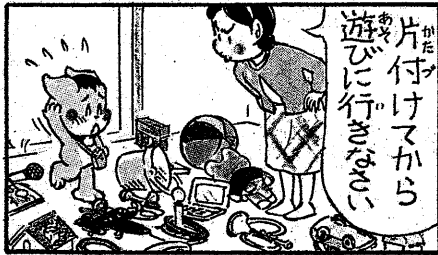
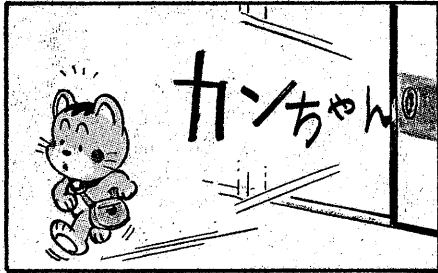
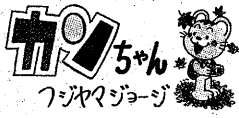
地域の魅力再発見

440人がウォーキング

歩きながら地域の風景や歴史に愛着を持つてもらおうと、第24回前橋ウォーキングジャンボリーが23日、前橋公園やその周辺を会場に開かれた。6キ、10キ、15キの3コースに計440人が出場し、さわやかにウォーキングを楽しんだ＝写真。

「水と緑と詩のまちまえばしを歩こう」がテーマ。子どもを連れた家族やお年寄りも参加した6キコースはJR前橋駅前に開設した複合施設「エキータ」や前橋文学館に立ち寄って見物し、和やかな雰囲気だった。

前橋



ペットフード協会(東京都)の昨年の調査で、高齢期に当たる7歳以上の犬は51.4%、猫は39.6%を占める。高崎地区獣医師会の五十嵐秀昭会長は、高齢の犬猫に目立つ症状として関節疾患や心臓疾患、糖尿病などを挙げる。「太らせすぎるといろんな病気を招きやすい。特に大型犬は急性に弱るので気をつけてほしい」と話している。

ペット用品店のかるなほ(前橋市上泉町)は、関節痛の改善に効くとされるグルコサミンを配合したサプリメントが売れ筋。来店客の4割はシニア用品目的で、かみ砕きやすい餌や柔らかいおやつ、犬用おむつも需要がある。曾我義幸店長は「高齢になると飼い主もペットも大変。5歳くらいから手をかけ、健康な体を作ってあげて」と早めの対策を勧める。

大正大学

全日程で、各学科・コースに出願できます

三分けて姿だった。桐生市内日にかけて2人が、息手口で詐欺3人の女性れも桐生高